

救命救急センターに受診される患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、救急科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

救急外来における処置時の鎮痛鎮静に対する多施設前向き観察研究

●研究の目的

救命救急センターを受診し、処置に伴い鎮静・鎮痛が必要となった患者さんを対象に、救急外来での鎮静や鎮痛に関する安全性や合併症についての情報を収集し解析することで、より安全な鎮痛・鎮静の方法について検討することが目的です。

●対象となる患者さん

研究倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日の間に、当救命救急センターを受診し、処置に伴い鎮痛・鎮静を施行された患者さん

●研究期間：

データの解析なども含めて研究実施期間は 2028 年 3 月 31 日までとなります。

●使用させていただく診療データ

年齢、性別、基礎疾患の有無、ASA、適応疾患、鎮痛鎮静に携わった施行人数、装着モニター、目標鎮静深度、使用薬剤、試行した時間帯

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データは、電子メールやインターネットを通じて、又は郵送や FAX 等により共同で研究を実施している他の施設へ提供することもあります。患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

●研究代表者

東京ベイ浦安市川医療センター

救急集中治療科 医長 本間 洋輔

●共同研究機関

本研究はニューメキシコ大学病院の協力のもと、東京ベイ浦安市川医療センター、健和会大手町病院、仙台市立病院、大阪警察病院、国立国際医療研究センター病院、京都府立医科大学附属病院、多根総合病院、福井県立病院の多施設合同研究です。オンラインレジストリはニューメキシコ大学と共同で構築しています。

●問い合わせ先（連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 救急科

研究責任者：大橋 孝太郎

住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

電話：078-302-4321

第 4.0 版 2025 年 12 月 28 日作成